

# 平成 28 年度 第 1 回木更津市生涯学習推進協議会 議事録

- 1 日時 平成 28 年度 7 月 15 日（金）午後 2 時～4 時
- 2 会場 木更津市役所朝日庁舎 会議室 A2
- 3 出席者 委員：前野一夫委員、佐久間剛委員、古藤田憲之委員、沢辺喜美夫委員、大河原敏雄委員、橋詰清委員、平本俊明委員、鶴岡俊之委員、平野正善委員、江口かほる委員、安藤順子委員、桂啓之委員(12 名)  
事務局：高澤教育長、堀切教育部長、齊藤教育部次長、秋元生涯学習課長、露寄副主幹、鈴木主査（6 名）

## 4 次第

- 委嘱状交付式
- 教育長あいさつ
- ①開会
- ②自己紹介（事務局職員・委員）
- ③協議事項
  - (1) 木更津市生涯学習推進協議会会長および副会長の互選について
  - (2) 平成 28 年度教育委員会の基本方針、生涯学習関係重点目標・施策および生涯学習関係事業について
    - ① 平成 28 年度教育委員会基本方針について
    - ② 平成 28 年度生涯学習の基本目標・政策・重点施策について
    - ③ 生涯学習市民公開講座
    - ④ 生涯学習フェスティバル
    - ⑤ 生涯学習バス「まなび」の運行状況
  - (3) その他

## 5 資料

- 平成 28 年度教育委員会基本方針
- 平成 28 年度生涯学習の基本目標・政策・重点施策
- 平成 28 年度生涯学習市民公開講座実施要項
- 平成 28 年度（第 25 回）木更津市生涯学習フェスティバル開催要項（案）
- 平成 28 年度木更津市生涯学習フェスティバルフローチャート（素案）
- 木更津市生涯学習フェスティバル 2015 事業報告(概要)
- 生涯学習バス運行状況（平成 27 年度）
- 木更津市生涯学習バス「まなび」の使用について
- きさらづ未来活力創造プラン(概要版)
- 木更津市教育振興基本計画
- 木更津市教育大綱

## 6 会議の概要

### (進行)

ただ今より木更津市生涯学習推進協議会委嘱状交付式を執り行います。

お名前をお呼びいたしますので、恐縮ですが自席にてご起立下さい。なお、委嘱状交付につきましては、市長代理として教育長から行います。

### 【委嘱状交付】

### (進行)

ありがとうございました。以上を持ちまして委嘱状交付式を終了いたします。

ただ今より平成28年度生涯学習推進協議会第1回会議を開催いたします。

本日の会議は委員12名中12名の出席であり、欠席はございません。

なお、本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例施行により公開されておりますが、本日の傍聴人はおりません。以上、報告いたします。

### (進行)

それでは、はじめに高澤教育長よりご挨拶申し上げます。

### (高澤教育長)

皆さんこんにちは。教育長の高澤でございます。

ただ今委嘱状交付式が行われましたが、今期は平成29年度末までの2年間の任期となっております。12名の委員のうち7名の方が新たに委員をお引き受けいただくことになりました。任期は2年間となりますのでよろしくお願いいたします。

昨今は、高齢化の進行であったり、また価値観やライフスタイルの多様化であったり、またさらには物の豊かさから心の豊かさへの移行の中で、今後ますます生涯学習のニーズが高まっていくのではないかと考えています。本市につきましては、平成4年に生涯学習都市宣言をして以来、教育委員会を含めて、市を挙げてさまざまな施策を進めて参りました。

今年度も、清和大学と連携しました生涯学習市民公開講座や、生涯学習バスの運行等も継続してまいる予定です。また、毎年実施しております生涯学習フェスティバルは、おかげさまで今年度25回目を迎えることになりました。詳細はこの後の生涯学習関係事業の中で説明させていただきます。この協議会が本市の生涯学習施策について、市民の皆様のご意見を伺う貴重な機会でございますので、ぜひ多くのご意見をいただきますようお願い申し上げます。

### (進行)

続きまして、事務局の職員紹介をいたします。

**(進行)**

次に、委員の皆様より、お手元の名簿順に従いまして、自己紹介をお願いいたします。

－ 委員自己紹介 －

**(進行)**

ありがとうございました。それでは議事に入りたいと思いますが、慣例によりまして、会長が決まるまで事務局で進行させていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

－ 異議なしの声 －

**(進行)**

異議がないようですので、事務局で進行させていただきます。

協議事項(1)「生涯学習推進協議会会長および副会長の互選について」ですが、生涯学習推進協議会設置要綱第5条により、「本会の会長及び副会長は委員の互選による」となっております。いかがいたしましょうか。

**(安藤委員)**

事務局案はありますか。

**(事務局)**

それでは、事務局よりご提案いたします。

会長には木更津工業高等専門学校校長の「前野委員」、副会長には木更津市図書館協議会選出の「桂委員」をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。ご承認いただける方は、拍手をお願いします。

－ 委員の拍手 －

**(進行)**

ありがとうございます。全会一致でご承認いただきましたので、前野委員を会長に、桂委員を副会長をお願いいたしたいと存じます。

それでは、前野会長、桂副会長よりご挨拶をいただきたいと思います。

**(前野会長)**

生涯教育は、従来から言われているような私たちが昔から培ってきた文化、文明と言われているようなもの、それと同時に、最近では科学技術も生涯学習の範疇に入ってきているような感じがしています。特に世の中では IOT(Internet of things=物をすべてインターネットと結びつける)と言われますが、ほとんどのものに情報が行き交うようになっています。これからは、生涯をかけてそういった社会に全ての世代が対応するような世の中になっていくのかなと思います。私たちが暮らしていく上で最低限知っておくべきことを学び合う生涯

学習になればいいと思います。人口減の中にあつて、木更津市はこれからどんどん発展していく都市と言われておりますので、皆さんの貴重なご意見をいただいて、木更津市の生涯学習活動をさらに充実したものにしていければよいかと思ひます。

#### (桂副会長)

昭和50年に新日鉄に入社し、以来42年木更津に住んでおります。新日鉄住金は最近技術職の女性社員が増え、結婚して子供ができて一生懸命働く人も多くなり、会社としても保育所を造ることを考えています。会社を辞めずに子育てもできるような世の中が必要なのかなと思ひます。生涯学習はとても大切なことだと思ひますので、皆さんご協力のほどよろしくお願ひいたします。

#### (進行)

ありがとうございました。生涯学習推進協議会設置要綱第6条により、前野会長に本会議の議長として今後の議事進行をお願ひしたいと存じます。

それでは、前野会長よろしくお願ひいたします。

#### (前野会長)

それでは、これより議事進行を務めさせていただきます。

最初に平成28年度教育委員会の基本方針、次に生涯学習の基本目標・政策・重点施策、生涯学習関係事業について、それぞれ事務局よりご説明をお願ひいたします。

事前に資料等は送付されていると思ひますが、事務局から説明を受けた後、質疑の時間を設けたいと思ひます。それでは説明をよろしくお願ひいたします。

### － 事務局説明 －

#### (前野会長)

ありがとうございました。ただ今ご説明があつた事業につきまして、皆様からのご質問、ご意見がありましたらお願ひいたします。

#### (桂委員)

アフタースクールボランティアとユースボランティアはそれぞれどんな活動内容なのか。

#### (事務局)

ユースボランティアには主に高校生、大学生が加入し、青少年事業の際に、キャンプ場などで、子供たちのお兄さん、お姉さんとして一緒に遊びながら体験活動の支援をしています。市内高校、大学等で登録を呼びかけています。

アフタースクールボランティアは、ユースボランティア(高校・大学等)を卒業した人から高齢者まで、アフタースクールボランティアの会に入会していただき、子供たちの自然体験活動などの支援をしています。

**(桂委員)**

生涯学習課で募集をして、登録してもらって、活動しているということですね。

**(事務局)**

ユースボランティアはそうです。アフタースクールボランティアは養成講座を実施し終了後に希望者に会への入会をご案内しています。

**(桂委員)**

ボランティアがたくさんあるので、戸惑いを感じます。

**(平野委員)**

関連ですが、アフタースクールボランティアはどこで、誰を対象に活動しているのですか？

**(秋元生涯学習課長)**

少年自然の家キャンプ場や公民館の主催事業等で、依頼を受けて竹細工などの体験学習の講師として活動しています。

**(橋詰委員)**

皆さんが木更津に住んでお客様を呼んだとき自慢できることはありますか？良いところはどこですか？「地域の文化遺産や伝統芸能を次世代に引き継ぐ」とあります。木更津には金鈴塚、太田山など良いところがたくさんあります。もっと足元を見ないと木更津は良くなりませんと思います。

**(前野会長)**

貴重なご意見をありがとうございます。特に重点目標でうたっているものと、現実との乖離というご指摘かと思います。

**(高澤教育長)**

交通の利便性が高いなかで、発展性と昔ながらのもの、自然もたくさんあるというのが木更津の良いところではないでしょうか。

**(橋詰委員)**

特に市職員にもっと地元のよいところを見てほしいと思います。素晴らしいところがたくさんあるのですから、現実を見ることで木更津はもっと良くなります。

**(前野会長)**

ありがとうございました。他に何かありますか。

**(平野委員)**

根本的なところで、私たちはこの会でどこまで協議すればよいのでしょうか。

**(桂委員)**

生涯学習の範囲はとても広いので、どこをどう議論してよいのか迷いますが、教育委員会の方針、施策などを見て、委員として何か意見を申すところがあれば、市への意見として発言していただければよいと思います。総体的に見ていただいて、おかしいと思えば指摘していただければよいと思います。

**(前野会長)**

最初に基本方針、次に生涯学習の基本目標、政策など、その後に具体的な事業内容と説明いただきましたので、全ての段階において質問、ご意見があればいただきたいと思います。

**(平野委員)**

公的なボランティアの交流がなく、相互の活動がバラバラのように思います。ボランティアを活用するといっても、それ以前にそれぞれがどんな活動をしているのかがわかりません。ボランティア同士の交流はあるのでしょうか。

**(安藤委員)**

1年に一度、木更津市子ども会育成連絡協議会・木更津市青少年相談委員連絡協議会・木更津市PTA連絡協議会・木更津市青少年補導員連絡協議会という4団体で集まり、情報交換、交流をしています。そのことがあまり知られていないということはわかりましたので、平野委員のご指摘も受けて、今後更に交流を深めていきたいと感じました。

**(前野会長)**

それは市の方でも把握されているのですか。

**(秋元生涯学習課長)**

4団体の交流会につきましては、今年度も8月開催の予定で調整を進めております。

平野委員からご意見があった件につきましては、市民活動のボランティアの皆さんからの「横のつながりを持ちたい」、「ボランティアをしたいのだけれど、どんなボランティアがあるのか」、「どんなところに行けば活動に参加できるのか」といったご要望について、市としてもデータリストを作成する等の課題はあると思います。

各地区では「住民会議」があり、地域のなかで団体同士が連携するということが行われています。また、市民部の所管ですが、各公民館単位で「まちづくり協議会」という組織づくりを進めています。「まちづくり協議会」は、地域の諸団体が一同に介して、意見交換を密にし、地域課題を掘り起こし、その課題解決に向けて行動していくことを目的としています。この中で、それぞれの団体が、お互いの活動についても理解を深め、連携できるのではないかと期待をしているところです。

**(古藤田委員)**

第2次生涯学習基本構想、基本計画の策定はいつ頃までにつくる予定でしょうか。

もう一点ですが、市民公開講座について、生涯学習らしい内容でありがたく思っていますが、清和大学は法学部と幼児教育が中心なので、もう少し幅広いテーマがあっても良いかと思えます。

**(秋元生涯学習課長)**

1点目の生涯学習基本構想、基本計画については、平成4年に生涯学習都市を宣言し、第1次基本構想を策定、平成7年に基本計画を策定しております。策定してから20年以上が経過しておりますので、第2次構想、計画を策定したいと考えておりますが、現在、木更津市の基本計画きさらび未来活力創造プラン、教育振興基本計画、教育大綱、更には都市計画マスタープランなど、さまざまな計画のなかで市の施策が進められております。ついてはそれらとの整合性も含め慎重に精査して、急がず適切な時期に策定したいと考えております。

**(事務局)**

市民公開講座については、清和大学への委託事業で、企画・運営全てをお願いしている状況ですので、希望は伝えていますが、理数系のテーマ設定は難しいかと思えます。

木更津高専でも公開講座を実施されていますので、そちらの情報提供はできるのではないかと思います。

**(古藤田委員)**

近隣市でも市民講座を設けているかと思えますが、他市の状況はどうでしょうか。

**(秋元生涯学習課長)**

例えば袖ヶ浦市では三学大学がございまして、他市もそれぞれ創意工夫を凝らし、地元の大学とも連携して市民講座を行っています。かつて木更津市でも市民大学を開催していましたが、それに代わり現在はこの市民公開講座を実施しているという経過でございまして。清和大学は地元にある高等教育機関でございまして、そのことを活かすべく連携させていただいてきたところです。木更津高専につきましても、出前講座などで学生や研究者の皆さんが講師となり、高専の技術等を市民が学べる機会をつくっていただいております。今後、清和大学に限らず、木更津高専の前野校長先生にも本協議会の委員として関わっていただいておりますので、ご相談させていただきながら、より良い施策に取り組んでいけたらと思えます。

**(前野会長)**

これに関しましては、地域創生「地(知)の拠点」という、高等教育機関と地域とが連携して人材を育てるというプロジェクトが全国で立ち上がっています。千葉県では千葉大学が基幹校となり、木更津高専も参加しております。千葉科学大学、千葉敬愛大学、千葉工業大学などと連携していますが、昨年からは木更津市にもメンバーとして加わっていただきましたので、恐らくその一環として市民大学的なことも拡充できるのではないかと考えております。何らかの形でシンポジウムや公開講座なども展開できればと考えてはおりますが、まだ具体

的にはなっておりません。

**(佐久間委員)**

ひとつ提案ですが、生涯学習フェスティバルに人権啓発コーナーなどを設けたら良いのではないかと思います。

**(前野会長)**

貴重なご意見ありがとうございました。

他に何かございますか。他にご意見等がないようでしたら、本日は平成28年度1回目の会議でございますし、新たな委員になられた方も多いので、できれば全員にご発言いただければと思います。まだご発言いただいていない方をお願いいたします。

**(沢辺委員)**

他市に在住していますので、この資料を見させていただき、比べても木更津市の試みは素晴らしいと思います。特に木更津市はボランティア活動に積極的に取り組んで、だんだん形になってきていると思います。また市民公開講座については、90%以上の方が満足感を得ているとの結果もあるとのことでしたが、清和大学が設定された内容だけでもこれだけ多くの方が参加されてきているのですから、市民の学習要求に応じてさらに内容を充実させていくことも必要ではないかと思います。

**(大河原委員)**

市民文化の充実ということが挙げられていますが、例えば君津市では女声合唱の大会にかなり市からの補助金が出ていたり、子供たち向けには劇団四季の公演に参加できるようなシステムがあると聞いています。木更津市ももっと文化面での啓発事業があるとよいと思います。

また、地域の文化遺産、伝統芸能を次世代に引き継ぐということはとても大事だと思います。今、特にこだわっているのが、木更津甚句とか、證誠寺の狸ばやしなど、地域に根ざしている民謡、子守唄などを子どもたちに引き継いでいくことです。このことは、学校だけでは限界もあるので、公民館活動や市単位での伝統芸能、文化遺産の講習会などをもっと増やしていただけたらありがたいと思います。

**(前野会長)**

貴重なご意見ありがとうございました。

木更津は歴史的な背景が深いので、今おっしゃったことはとても重要かと思います。

**(秋元生涯学習課長)**

貴重なご意見ありがとうございました。芸術文化の振興につきましては、文化課にも申し伝えると共に各公民館等にも伝えたいと思います。

市民部が所管で協働のまちづくり支援事業に取り組んでおります。公益性のある市民活動に対して市が支援をするということもありますので、市ももちろん積極的に取り組んで参り



ますが、市民が力を最大限発揮できるような活動に対しても協働、協力して参りたいと思います。

公民館は必ずしも学習機会の提供だけでなく、人づくりのための機関でもございますので、学びの成果や元々の地域の力を活かすなど、学校教育とも連携しながら地域の人材を活用できるようにしていきたいと思います。

**(平本委員)**

市民公開講座に年齢制限はありますか。

**(事務局)**

年齢制限はありません。

**(平本委員)**

中学生、高校生にも参加できるような形にしてほしいと思います。申込み方法はインターネットでできるようにはならないでしょうか。

**(事務局)**

これまでもそのようなご要望はあります。また今後清和大学ともご相談して検討して参ります。

**(鶴岡委員)**

生涯学習の核となるのは、市内全域にある公民館だと思います。いま地域の人と人のつながりが希薄化していて、地域の子供たちが家族、先生以外の大人といかに関わるかというのが生涯学習にもつながるのだと思います。地域の大人の話を聴く機会があればいいと思ってきました。今日伺ったアフタースクールボランティアやユースボランティアはとても大切な活動だと感じます。アフタースクールボランティアがさらに拡充できるように、もっと多くの方が気軽に登録できるような体制ができれば良いかと思います。

**(秋元生涯学習課長)**

アフタースクールボランティア養成講座を毎年行っておりますが、受講生の中には小学校で行われている「放課後子ども教室」のリーダーをされている方が、地域の大人としていろいろなことを身に付けたいという目的で参加されます。アフタースクールボランティアの登録者は多くはないのですが、養成講座を受講して、各小学校区で活躍している方もいるということがございます。アフタースクールボランティアで中心的に活動している方も大久保のハックルベリーという会の方で、自分たちでも事業を展開されています。今後も登録数を増やせるよう取り組んでいきたいと思います。

**(桂委員)**

バスはもう一台増やすということはできないのでしょうか。

### (事務局)

今のところ増やす予定はございません。

### (前野会長)

バスも新エネルギーを利用したバスなど、補助金が出るケースなどもありますので、そういうものを上手く利用するというのもできるのではないのでしょうか。

他にございませんでしょうか。ないようでしたら、これで会議を終了させていただきます。皆様方のご協力が無事会議を進行することができました。

事務局におかれましては、本日、審議されました意見などを参考に、木更津市の生涯学習体制充実のため一層の努力をお願いいたします。また委員各位におかれましても、豊かな生涯学習社会実現のため、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本日の会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

### (進行)

長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

今後とも本市の生涯学習推進活動のため、委員の皆様にはなお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

それでは平成28年度度木更津市生涯学習推進協議会第1回会議を終了いたします。どうもありがとうございました。